

正しい知識をもって、検査と治療をしましょう。

乾癬性関節炎という病気を知っていますか？

皮膚に赤い発疹ができ、指の関節が痛くなりますが関節リウマチとは違う病気が乾癬性関節炎です。他の病気と間違えられることも多いといえます。

今回は札幌中央病院の須田祐之先生に、この病気についてお聞きしました。



私がお答えします



札幌中央病院
整形リウマチ科
須田祐之先生

リウマチに似て非なる病気？

乾癬性関節炎は、尋常性乾癬という皮膚の病気に合併して、主に手の指の第一関節に痛みが生じる病気です。しかし症状が関節リウマチと似ていることもあり、診断が難しい病気でもあります。

この病気の特徴は、指の痛みと、身体どこかの皮膚に赤い発疹ができることです。発疹は人によってはかゆみを覚えることもあります。関節リウマチ同様、朝のこわばりが見られることが多く、痛みは主に指の第一関節に現れます。病気が進行すると関節リウマチと同様に関節の破壊がみられることもあります。

リウマチではないので、血液検査ではリウ

乾癬性関節炎の主な症状一覧

- 指の第一関節が痛む。
- 指が太くなる。爪が変形する。
- 指以外の関節痛も出現することがある。
- 朝のこわばり
- 皮膚に赤い発疹が出現。同部に白い垢状のものが出現（乾癬）。



適切な治療と定期的な検査を

乾癬性関節炎は、自己免疫疾患の一つで、細胞が自分自身の身体を攻撃してしまう病気です。男女差や年齢による発症の違いは少なく、若い人でも発症します。また、変形性関節症との鑑別が難しいため、痛み止めの軟膏のみで経過をみている患者さんも多数いるようです。

乾癬性関節炎の治療は関節リウマチに似ています。しかし、関節リウマチに比べ治療の反応性がよく、早期に改善が期待できる病気です。経口薬で効果が出ない方には、生物学的製剤と呼ばれる医薬品を使用することにより、症状の改善が期待できます。

しかし、生物学的製剤は、肺炎などの副作用も起こることがあり、定期的な受診が必要になってきます。

また、皮膚症状も皮膚科で診てもらったことが大事です。リウマチ科だけではなく、皮膚科と連携して治療にあたるのがこの病気の重要なところですよ。

痛みが慢性的に続き、手が握りづらいなどの症状がある場合は、皮膚科医に相談し、関節リウマチ専門医や膠原病専門医こうげんびんせんもんいに受診することをおすすめします。